
教育総合センター だより

NO. 148

平成 30. 5. 1



「エビデンスに基づく情報発信の必要性」

教育総合センター

所長 西川 嘉彦

教育総合センターで2年目を迎えることになりました。今年度もよろしくお願ひいたします。

教育総合センターは、昨年度より、「教職員の学び支援課」を持つ部の組織になりましたが、昨年12月に、「教育公務員特例法」の一部改正を受け、「教員資質向上指標」並びに研修計画である「研修体系図」を策定しました。

「教育公務員特例法」の改正だけでなく、今回の学習指導要領における、「育成を目指す資質・能力の明確化」や本年3月に発表された、中央教育審議会の「第3期教育振興基本計画について」（答申）の中で、「測定指標」や「参考指標」が取り入れられたことなどを見ておきますと、今後、教育を取り巻く様々な分野で、エビデンスに基づく説明責任がますます問われてくると考えられます。

もちろん、教育の世界には、エビデンスに基づかないことや目に見えない日常の指導の重要性もあることから、何でもかんでも数字や点数に表す必要があるとは思いませんが、学校園でも目的を持って、教育活動を実施する以上、成果指標や検証方法を意識することは必要なことです。また、それらは、ただ設定、検証するだけでなく、

結果をどう活用し、発信するかが、より重要なことです。

言い換えれば、学校園が一定のデータに基づき、自校の子どもたちの姿をしっかりと捉え、教育課程を編成、実施するとともに、評価や改善方法を含め積極的に発信することで、保護者や地域からの信頼や協力を得ることもできるわけであり、まさに今回の学習指導要領の言うところの「社会に開かれた教育課程」や「カリキュラムマネジメント」の意図するところでもあります。

教育総合センターにおきましても、今年度は、昨年度策定した指標や研修計画の趣旨をどう具現化していくかが問われる年になります。

基本研修に位置づけられた、「教職年数に応じた研修」や「職務・職階に応じた研修」が教職員のキャリアステージに応じた目的を持って実施されているか、また実施した結果、その目的が果たされているか、「先進的な研究」や「先進地域への派遣研修」等の内容が、学校園にも発信され、活用されているかなどの視点で、様々な見直しも図ってまいりたいと考えています。

今年度も、教育総合センターの事業にご理解ご協力を賜りますようよろしくお願ひいたします。

☆☆☆ 教育総合センターの事業の概要 ☆☆☆

教育総合センター 教職員の学び支援課は、「研修」と「情報教育」そして「自主研究グループ支援」の3つを担当しております。

1 研修担当・自主研究グループ支援担当

教育公務員特例法の一部が改正の上、施行されました。この改正に伴い、「校長及び教員としての資質向上に関する指標」及び「教員研修計画」を策定することが義務づけられました。

小・中・特別支援学校の教員等に対する「資質向上指標」は、兵庫県教育委員会が策定し、幼稚園・高等学校の教員等に対しては、中核市である本市が策定し、それぞれ各学校園に通知しているところです。

この「資質向上指標」に基づき、本市では、すべての校種を網羅した「教員研修体系図」を策定しました。キャリア段階に応じた資質や能力の向上・育成が図れるよう研修を計画的に実施するとともに、自主的に研究に取り組む先生方の活動を支援していきます。

(1) 尼崎市が求める教員の素養

本市の基本方針である「一人ひとりを尊重し 互いに支え合う心豊かなたくましい人づくりをめざす」の実現のため、「求める教員の素養」として、①あふれる情熱と責任感 ②確かな授業力・指導力・専門性 ③総合的な人間力 の3つを設定しています。

(2) 研修の重点化

先述の「資質向上指標」及び「教員研修体系図」の策定にあたり、従来の研修を見直し、重点化と精選の観点で研修を計画しています。次代を担う子どもたちの学びを支える教職員の資質向上を図るため、体系的・組織的な研修を推進していきます。

ここでは、重点化する主な研修を紹介します。

まずは、次期学習指導要領の全面実施に向けた研修の充実です。特に「道徳教育推進教師研修」や「外国語活動担当者研修」については、連続研修として複数回実施する予定です。受講された先生方が、各所属校で研修内容を伝達したり、授業を公開したりするなど発信や啓発を行っていくことが望まれます。

次に、管理職の大量退職に伴う新任管理職に向けた研修の充実です。特に「新任教頭研修」については、実務を中心とした各回短時間での連続研修を実施する予定です。

(3) 研究部会

本センターでは、先進的研究の推進を図るため、本年度も引き続き、5つの研究部会を組織しています。各学校園から推薦を受けた教員が研究員となり、専任講師の継続指導を根幹とした実践的な研究に取り組みます。現段階での研究テーマと年間を通して指導いた

だく専任講師をご紹介します。

① 小学校国語科教育アクトブ・ラーニング 部会

【テーマ】「国語科における主体的・対話的で深い学びの実現に向けて」

【講師】 桃山学院教育大学 准教授 今宮 信吾 氏

② 小学校算数科教育アクトブ・ラーニング 部会

【テーマ】「主体的・対話的で深い学びで創る算数科の授業を目指して」

【講師】 関西大学初等部 教諭 尾崎 正彦 氏

③ 中学校アクトブ・ラーニング 授業実践部会

【テーマ】「主体的・対話的で深い学びの授業づくりを通して」

【講師】 大阪教育大学大学院 准教授 寺嶋 浩介 氏
鳴門教育大学大学院 講師 泰山 裕 氏

④ 道徳教育研究部会

【テーマ】「発問の工夫と共に、多様な意見を出し合い高め合う授業の在り方」

【講師】 四天王寺大学 准教授 杉中 康平 氏

⑤ 外国語・英語科教育研究部会

【テーマ】「小・中学校の接続を考えた授業の在り方」

【講師】 関西大学 教授 今井 裕之 氏

また、5つの研究部会の昨年度の実践については、各学校園に配布しております「紀要55号 研究報告書（平成30年3月）」をご参照いただけたらと思います。

さらに、今夏に実施の小学校国語科・算数科教育アクトブ・ラーニング部会の基調講演においては、一流の授業実践者として、全国的に著名なお二人の講師を招聘する予定となっております。ぜひ多くの先生方にご受講いただけたらと思います。

① 国語科教育研修講座

【実施日】 平成30年8月 3日（金） 予定

【講師】 桃山学院教育大学 教授 二瓶 弘行 氏

② 算数科教育研修講座

【実施日】 平成30年8月22日（水） 予定

【講師】 筑波大学附属小学校 教諭 山本 良和 氏

(4) 学びの先進研究サポート事業

昨年度から引き続き、教員等で構成された自主研究グループに対して、講師招聘に伴う報償費など研究の充実を図るための活動を支援していきます。

さらに、今年度より「先進地域への短期派遣研修」の支援も行います。具体的には、派遣教員の希望に応じ、先進的研究に取り組む学校園等において、1週間程度の継続的な研修を行うための旅費を支援するものです。

日々の学級創りや授業創りに直結する学びを得る絶好の機会となると思います。派遣人数に限りがありますが、ぜひご希望いただけたらと思います。

(係長 相方 伸二・係長 福山 圭介)

☆☆☆ 教育総合センターの事業の概要 ☆☆☆

2 情報教育担当

教育の情報化推進に向けて、学校でのICT活用や、情報モラル・情報セキュリティに関する教育を推進するとともに、ネットワークシステムの効果的な運用とそれらに関する研修を実施します。また、情報教育に関する調査・研究・教材開発も学校や関係機関と連携しながら進め、成果を広めていきます。

(1) 学校ホームページ関係

各学校・園からのホームページ更新申請を受け付け、確認・処理し、インターネットへの公開を行うとともに、効果的な情報発信を推進します。また、学校・園のホームページ作成を支援します。

学校・園が、ホームページにより情報発信をする回数は、年々増加傾向にあり、今後も保護者や地域と連携した教育活動の推進の一助となるよう情報発信の支援をします。

(2) 教育の情報化研修

下記のような研修や各学校へ出向いての研修を実施し、ICT機器の活用及び教育の情報化を推進します。

- ・教育用コンピュータシステム管理担当者研修
- ・小・中・特別支援学校初任者対象の情報教育研修
- ・校務支援システム研修講座
- ・情報モラル・セキュリティ研修講座
- ・プログラミング教育研修講座
- ・小・中・特別支援学校ICT活用研修

(3) 学校ICT関係

学習用コンピュータ等、学校のICT機器環境を整備し、学習指導要領に示された情報教育を推進します。

中学校では、平成26年度にコンピュータ教室を更新し、その時に導入したプロジェクターも含めて、プロジェクターとパソコンを普通教室に持ち込んで活用する授業も見られるようになっていきます。

小学校では、平成27年度にコンピュータ教室を更新し、その中で児童用タブレット40台を整備して、さらなる情報教育の推進を図っているところです。

(4) AMA-NET管理業務

コンピュータ・ネットワークが利用できる環境を整備し、事務処理の効率化をめざしたシステム

の利用促進を図ります。また、メールや掲示板等を活用し、学校と教育委員会との情報交換等の円滑化を図ります。

メールでは、教職員に職務用の個人メールアドレスを配布し、教科等の研究会での情報共有等に活用されています。

(5) 調査・研究・教材開発

学校におけるICT及び学校情報通信ネットワークシステムの活用や、教育の情報化の推進に取り組みます。

機器の活用状況等の調査をもとに、効果的な情報システム等について研究を行います。

また、アクティブ・ラーニング授業実践部会を中心に、学校や関係機関と連携しながら、実証的な研究を深め、教材開発も含め研究成果を市内に広め教育の充実を図ります。

さらに、ICTの利点を活かした家庭学習等の推進として、児童・生徒が家庭からでもアクセスできる学習支援システムの活用や、問題データベースの活用等を進めており、学習習慣の確立や確かな学力定着をめざします。



(写真) 教育総合センターのコンピュータ研修室



(写真) ICTを活用した学習指導の様子

(係長 後藤 聡志)

教育総合センター 事務分掌表 平成30年5月1日現在

教育総合センター 所長 西川 嘉彦	
教職員の学び支援課長 重信 親秀	
研修担当 TEL6494-3155 (Fax6494-3151)	
※教職員研修 ※教育に関する調査・研究・教材開発	
※教育総合センターの運営・計画調整 ※予算管理 ※文書管理	
※教育情報収集・整理・提供 ※情報誌の発行 ※教科書センターの管理	
係長	相方 伸二
研修担当の総括、特別臨時研修、指導力パワーアップ事業 児童生徒文化充実支援事業 【研修…算数科教育アクティブ・ラーニング部会研修、算数】	
指導主事	松本 隆範
初任者研修(小・拠点)、指導教員制度、養護教諭研修 大学と連携した英語指導力向上事業 【研修…新任教頭研修(中)、外国語、養護教諭、国語 国語科教育アクティブ・ラーニング部会研修】	
指導主事	兒玉 崇
海外・中央派遣研修、初任者研修(高)、高等学校関係 児童生徒文化発表会、特別支援教育関係、3年次研修 【研修…新任教頭研修(小)、就学前教育、学校事務職員 管外転入教員、人権教育、アプローチャートカリキュラム】	
指導主事	小林誠一郎
初任者研修(中)、中学校全体教科研究会、キャリア教育 児童生徒文化発表会、基金事業、県立教育研修所関係 【研修…校・園長、教頭研修、道徳教育、体育、一般教養】	
指導主事	瀧本 晋作
県管理職研修、初任者研修(幼)、5・15年次相当研修 中堅教諭等資質向上研修(幼・高)、異校園種交流研修 栄養教諭研修、リーダー養成研修、基金事業、2年次 【研修…学校飼育、学級集団づくり、幼児教育、音楽】	
係長	福山 圭介
学びの先進研究サポート事業	
再任用	池内 猛
予算・決算、複合施設の維持管理、庶務	
嘱託員	谷口 陽三
教育情報誌の発行、学校相談	
嘱託員	松浦かおり
資料収集・提供、教科書センターの管理	
嘱託員	尾崎 一郎
授業改善アドバイザー業務	
嘱託員	木村 啓子
授業改善アドバイザー業務	
嘱託員	大川 泰三
授業改善アドバイザー業務	
嘱託員	山内 宏美
授業改善アドバイザー業務	
嘱託員	中嶋 修一
授業改善アドバイザー業務	
嘱託員	堀川夫美子
授業改善アドバイザー業務	
再任用(短)	幾田 喜憲
自主グループ支援相談役	
臨時職員	白髪 之智
管理業務事務補助	

情報教育担当 TEL6494-3155 (Fax6494-3151)	
※教職員研修 ※情報教育に関する調査・研究・教材開発	
※教育の情報化推進(ICT活用)・情報モラル教育 ※複合施設の維持管理	
※ネットワークシステム活用	
係長	後藤 聡志
情報教育担当の総括、研修管理、高等学校PC	
指導員	藤井 俊史
中学校・特別支援学校校務支援システム 中学校・琴城分校PC(機器管理とシステム活用) AMA-NETの管理(ホームページ等)	
指導員	小谷 隆宏
小学校・特別支援学校校務支援システム 小学校・特別支援学校PC(機械管理とシステム活用) AMA-NETの管理(ネットワーク・機器等)	
係長	山下 佳美
学校運営課主任	
嘱託員	山下 陽一
学校事務処理支援システム、視聴覚ライブラリー管理、学校相談	
臨時職員	山崎 敏広
情報教育ネットワーク管理事務補助	
臨時職員	岡田 綾
情報教育ネットワーク管理事務補助	

開館時間ご案内	
開館時間ご案内	平日 午前9時～午後9時

教育情報コーナーのお知らせ

★教育情報コーナーminiのご案内

教育総合センターでは、ひと咲きタワー3階『教育情報コーナーmini』において図書貸出しをしています。

- ・先生方に利用していただきたい本や資料、雑誌等をたくさん整備しています。
- ・原則として、貸し出しは6冊2週間です。
- ・より多くの先生方にご利用いただけるよう、庁内メール便による貸出・返却もできます。

〈申し込み手順〉

- ① 教育総合センターホームページを開く
- ② 【情報コーナー】のアイコンをクリック
- ③ 【貸出方法と図書リストのページはこちらから】をクリック
- ④ 【「資料貸出票」の記入例はこちらから】をクリック
- ⑤ 「資料貸出票」をダウンロードして保存し、必要事項(申請日、著者名、書名、分類番号、登録番号、返却年月日、氏名、勤務先、勤務先電話番号)を記入
- ⑥ 電子メールの件名を「図書貸出」と記入し、必要事項を記入した「資料貸出票」を添付して下記のメールアドレスに送信【CEN-KANRI@nd.ama-net.ed.jp】担当：松浦
- ⑦ 受付終了後、本を送付します。

(担当 松浦)

★教育総合センターは、知の宝庫！

「ひと咲きタワー」は、教職員の学びのタワー！

- ・学びとは、新しい世界との出会い
- ・学びとは、自分の中に新たな意味が生まれる体験
- ・学びが、未来を明るく照らす
- ・学びが、生きる喜びを生み出す
- ・学びが、自由をもたらす
- ・学びが、自信をもたらす
- ・学びある人が、周囲を照らす



教育総合センターには、たくさんの教育の専門書、研究紀要、最新の教育雑誌があり、いつでも相談できる研修・情報教育担当指導主事、授業改善アドバイザーがいます。まさに知の宝庫です。教育総合センターで学びのスイッチを入れましょう。

お気軽にお越しください。(受付：2階事務室)

★教育総合センターの場所および交通アクセス

住所：尼崎市若王寺2丁目18番1号

- ・「あまがさき・ひと咲きプラザ」(旧聖トマス大学跡)の最も高い建物「ひと咲きタワー」に教育総合センターがあります。本市の北東部に位置し、最寄りの阪急園田駅から、約1.1Kmの距離にあり、徒歩で約15分です。

- ・阪神バス(11系統 阪急園田駅南側～JR尼崎駅北側)が北側道路(県道西宮豊中線)を概ね1時間に3本運行しており、百合学院前で下ります。

阪急園田駅南側～百合学院 所要時間 約3分

JR尼崎駅北側～百合学院 所要時間 約12分

- ・駐車場および駐輪場あり

★『教育あまがさき』の発行

研究を深め、各学校園の取り組みやがんばりを紹介します。

尼崎の学校園を応援する教育情報誌です。原稿執筆や写真、作品提供にご協力ください。

(担当 谷口)

発行 尼崎市立教育総合センター(尼崎市若王寺2丁目18番1号)

発行者 西川 嘉彦

題字 岡本 元興(元尼崎市教育委員)